

## 学 長 式 辞

本日、佐賀女子短期大学、地域みらい学科・福祉とソーシャルケア、韓国語文化、グローバル共生 IT、司書アーカイブズ、4つのコース、こども未来学科・こども教育、こども保育、こども養護、3つのコースの全課程を修了した 138 名に卒業証書を授与しました。その中には、初めての男子の卒業生 8 名がいます。そして、日本語別科 22 名に修了証書を授与しました。

日本各地、そしてミャンマー、ネパール、韓国、台湾から、この大学に集まり、ともに学びを続け、晴れて卒業の日を迎えたみなさんに、佐賀女子短期大学の全教職員、在校生を代表して、心からの祝福を送ります。みなさん、おめでとう！

ご家族、保護者のみなさまにもお祝い申し上げます。どうか、今日はたっぷりほめてあげてください。みんな、がんばりましたよ。

また、今日まで学生を励まし、さまざま支援をいただいた旭学園内田信子理事長、同窓会・若楠会の山口美保子会長、後援会の中山麻衣子会長、そして、実習やアルバイト、社会的な活動などでお世話になった施設のみなさま、市民のみなさまに、卒業生、修了生とともに感謝申し上げます。

なお、本日この場には、開学までいよいよあと 19 日となった武雄アジア大学の小長谷有紀学長にもご列席いただいています。旭学園の 4 年制大学、短期大学として、ともに新たな歴史を刻んでいくことをこの場をお借りして、お誓い申し上げます。

この春から、韓国の大学に編入学し学びを継続する卒業生もいますが、多くの学生は、教育、福祉の現場で、観光などさまざまな企業において、社会人、職業人としての新しい生活を始めることとなります。みなさんの登場を待ち望んでいる人たちがたくさんいます。みなさんは、地域の希望です。佐賀女子短期大学の卒業生として、学んだことに誇りを抱いて、堂々と歩み始めてください。

4 年制大学には 4 年制大学の、短期大学には短期大学の役割があります。そこに優劣などあるはずもないのです。とかく世上では短期大学が衰退しているようなことが言われて久しいわけですが、私はむしろこれからの社会では短期大学の存在意義は、ますます高まっていくと確信しています。みなさんの価値はますます高まっていくと思っています。ただ学歴を誇るだけの学歴主義、試験の成績だけに依存する偏差値主義が優位の社会はもう終わろうとしているからです。最近の報道によれば、韓国においては、短期大学の就職率が 4 年制大学を上回りました。またアメリカでは、AI の発展により、たとえ名門大学の卒業生といえども、就職の門戸がどんどん狭まっています。逆に、「ブルーカラービリオネア」という言葉がいわれるようになってきました。AI がとってかわることができない熟練技能の仕事が、人手不足と高い専門性により、「億万長者」といわれるような高収入になっている現象

のことです。

いま社会で何が起きているのか。それは明らかですね。人口知能・AIの進化が、世の中の仕組みを劇的に変えているのです。その変化は、私たち人類、ホモサピエンスが誕生してから30万年の歴史の中でも、また巨大な発展を遂げてきた産業革命以降の歴史の中でも、もっとも大きなものなのです。人類が経験したことのない変化が起きている社会、予測不可能な世界をみなさんは生きていくことになるのです。

しかし怖れる必要はありません。

AIにこんな質問をしてみました。「AIにはできないが人間にできることは何か」と。AI君の答えはこうです。「AIは大量のデータ処理などには長けていますが、人間のように自ら目的を見出したり、相手の心に深く寄り添ったりすることは困難です」と。喜び悲しみ怒りというような感情に共感すること、自らなぜ？という問いを立て、新しいものを生み出すことはAIにはできません。考えてみれば、ここでみなさんが身につけたことで、AIにはできないことがたくさんあるのです。だから、短大の未来は明るいのです。AIを上手に使いこなしながら、あなたがただからこそできることに思い切りとりくんでください。

みなさんは、AIの時代という変化の時代を生きていくわけですが、他方、なかなか変わらないこともあります。まだ残っている不合理な古い考えや習慣、公平でない、平等ではない扱いを受け、違和感、閉塞感に悩むこともあるだろうと思います。大国によるルール無視の非道な戦争が次々と引き起こされています。胸が痛いですね。

日本は世界の中でも必ずしも女性が生きやすい社会にはなっていません。留学生のみなさんは、ときには外国人に対する差別や偏見を感じることもあるかもしれません。問題だらけ、矛盾だらけ、思わず耳を覆いたくなる、目を塞ぎたくなる現実がある。それでも私たちは今を生きているし、生きていかなければならないのです。

時間はどうして過去に向かって流れないのか。過去は変えられないからです。時間は未来に向かってしか流れない。未来は変えられるからです。希望は未来にしかないのです。そして、未来にはみなさんがいるのです。

みなさんは決してひとりではない。自立するということは、ひとりだけで生きていくことではありません。自立するということは人を頼ることができるということです。みなさんの2年間のなによりの宝物は、先輩、後輩、同級生、教職員、さまざまな人々とのつながりです。これからも困難にめげそうになったら、どうか友を、母校を頼ってください。母校はずっとみなさんの応援団です。

人に寄り添い、人を光で照らし、人とともに生きる。

佐賀女子短期大学はこれから、そんな素敵な人をもっとうみだす場でありたいと思います。

Be Sunny! みなさんの前途に、光あれ!

あらためて、卒業おめでとうございます。

2026年3月13日

佐賀女子短期大学 学長 今村 正治